

●全体スタイリング

私たちが今回『テーマライン』と名付けた、ボディーサイドを貫く上下2本のラインをシルエットの基調とし、VFRシリーズの特徴である張りのある大きな面の構成と共に、シャープで高級感のあるスタイリングを目指しました。

さらに、ボディーパーツのみならず、ハンドルやステップからスイングアームなど、機能部品の細部に至るまで拘りのデザインを施すことにより、精緻で高品質なモーターサイクルであることを表現しました。

**●フロントビュー**

フロント回りはカウルのボリュームを極力抑え、スポーツツアラーとしての高い運動性能を印象付けます。灯体のデザインではVFR1200Fから継承したX型キャラクターをエクステンション(リフレクターの延長部)で構成しました。(特許出願中)また、先進的で精悍な顔つきをLEDヘッドライトによって表現。このLEDヘッドライトにより、従来モデルのバルブ4灯式ヘッドライトに対し消費電力を大幅に低減しました。さらに、ロービーム、ハイビーム時とも、左右両側のヘッドライトがLED特有の白色点灯することで、「VFR800F」の個性と存在感を主張します。

**●リアビュー**

リアの灯火器においては、歴代VFRの特徴の一つであるコンビライトのデザインを踏襲しながら、テールランプとストップランプの発光部を分け、制動時には発光面積を増やしました。テールランプでは灯火器中心から左右方向へ光が広がる“ライン発光”というLEDならではの手法を採用し、先進性を表現しました。また、テールランプとストップランプ部を別体レンズ内部に収納した立体感のある“インナーレンズ”デザインにより精悍なリアビューを演出しています。

